

No1

米の由来を知って、歴史を好きになろう

この企画は、一言で言うところ由来を知って歴史を好きになろうという企画です。

企画の目的は、みんなに昔と今の米づくりのちがいについて知ってもらい、ぼくたちのくらしがどのように便利^なってきたのか知ってもらいたからです。そして、自分たちで作った、いつも買っていたもち^①と、どれだけおいしさが変わるかというのを知ってもらいたからです。

なぜもち米作りというキーワードにしたかというと、小さいころから、おばあちゃんの家で田んぼでもち米を作っていました。ぼくは、もちが好きだったのでどうやって作られていくのか気になっておばあちゃんに教えてもらいながら、いっしょに一から作りました。

まず、田おこしをして代かきをします。それから、なえを育てて、細長い葉が5枚以上になったら田植えをします。と中^②、草取りをし

N02

かり取、たリタニシを取、たリ、水の管理
とか害虫が来ていないか見回りをします。そ
して、天気を調べて稲刈りの日を決めるので
す。収穫ごろになるとコンバインという機械
を使ってかりました。④楽しみでか、大日にす
ぐせいまいしに行、てもちを作、てもらいま
した。そして食べてみると、とてもおいしく
て、みんなにもこのおいしさを知、てもらい
たいと思いました。

そこで、歴史を好きにな、てもらうために、
昔の米作りについて知、てもらおうと思いま
す。

ぼくは、社会で歴史の勉強をしています。
米は、大陸から弥生時代に日本に伝わりまし
た。でもぼくは、歴史のテストがよくありま
せんでした。だから、この企画でぼくも歴史
を好きになりたいと考えました。中学受験を
考えている人にもぜひ参加してほしいです。

具体的な内容は、一家族一個の昔の石ぼろ
ちようを作、て、そをそおいねをか、てみて

N/03

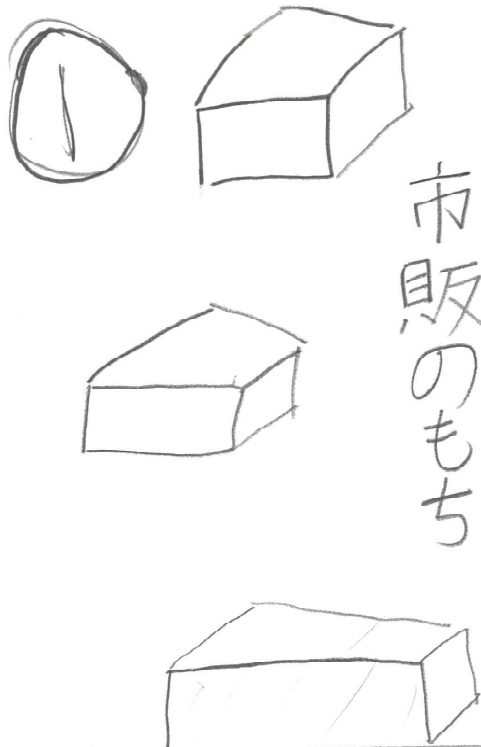
最後には収穫をします。もちをみんなで食べ
ます。ここに一つアイデアをいれます。

ぼくの名前は、燕です。だから、燕をもちに
合うように料理してもいい、それをコンテス
トとして一位から三位までを発表します。

また、子どもにも楽しんでもらうために歴
史についての問題を出すようにして、全て合
っていた人には、しんさいんになって料理を食
べてもらいます。

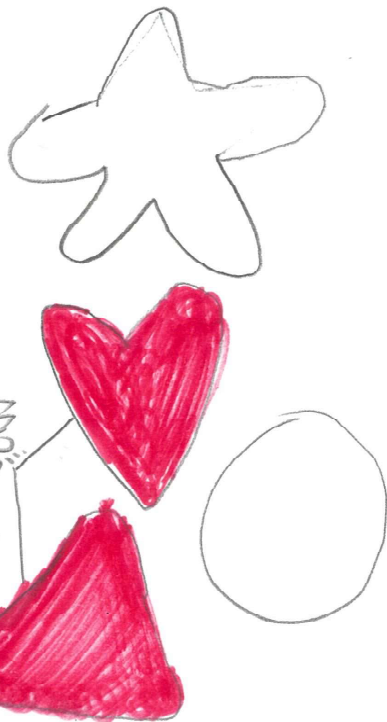
参加してほしい人は、一度も米を作、たこ
このない人たちです。

この企画でぼくが期待することは、子ども
たちが大人になってから米づくりをしてほし
いです。そして、いづも買っていた米にどれ
だけ苦労がつかまっているのかをみんなに知
てもらえることが期待できます。



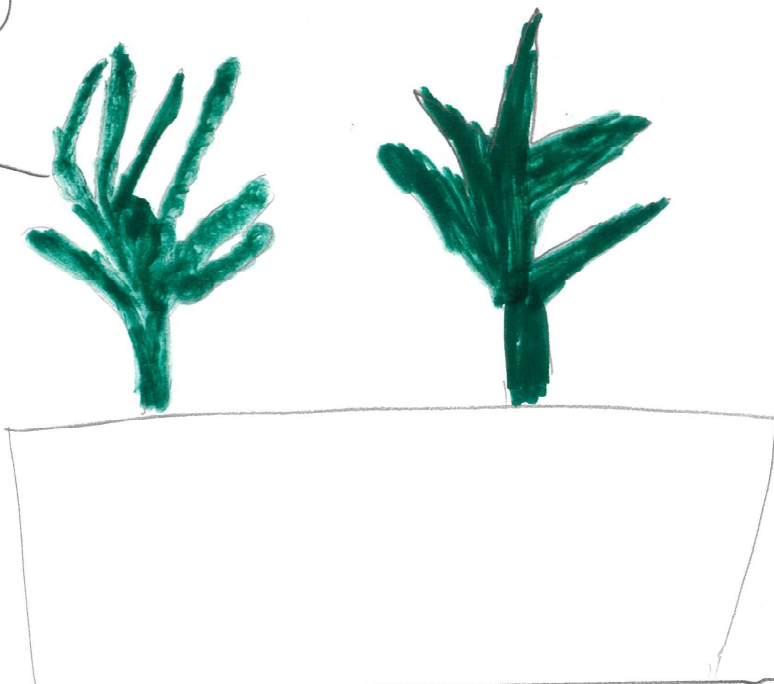
市販のもち

作ったもち
色がつける

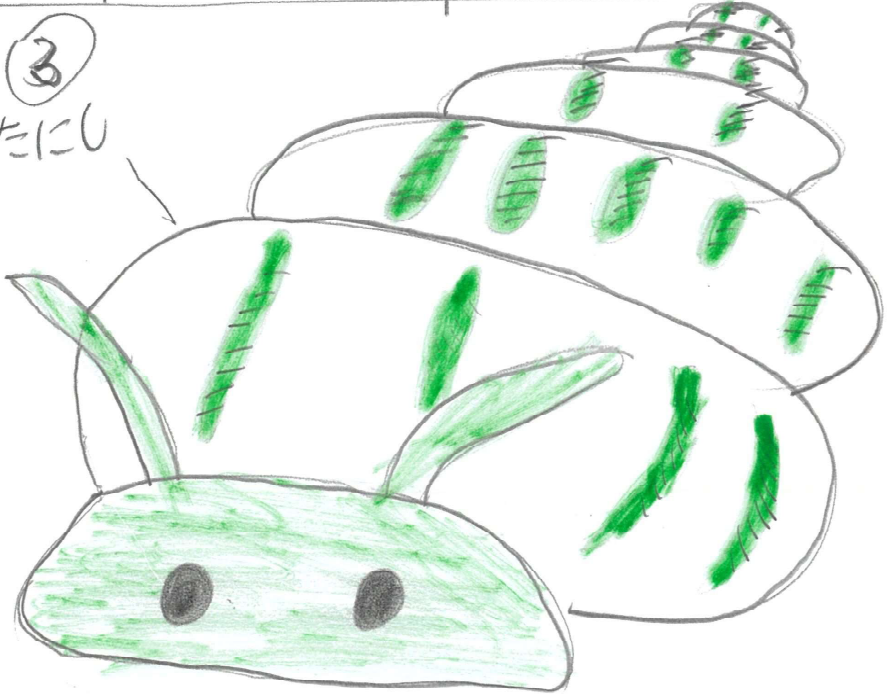


②

なえ

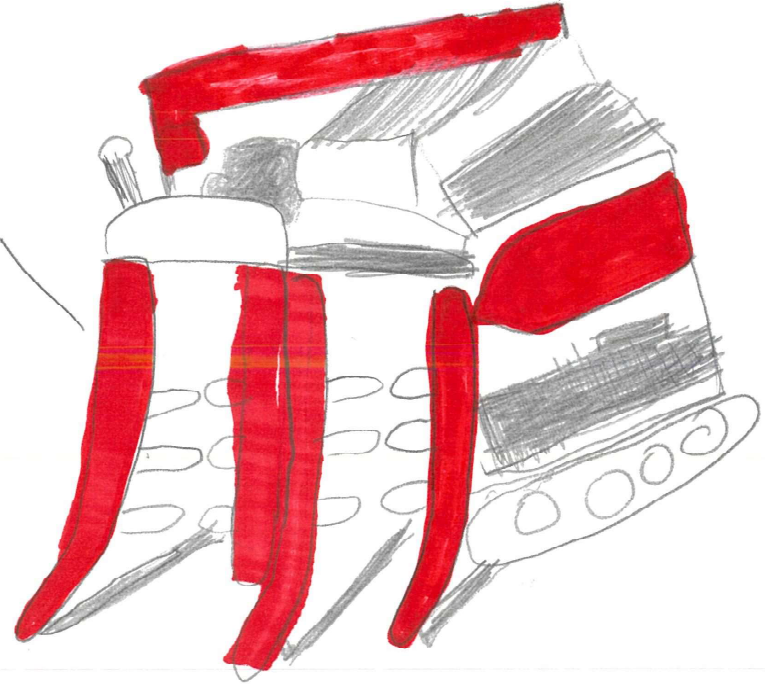


③
たにし



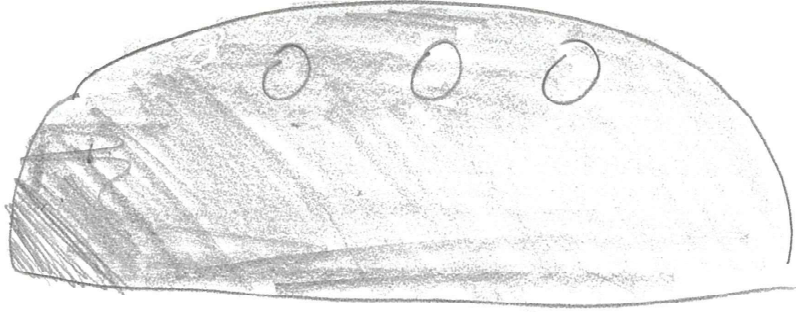
④

コンパイン

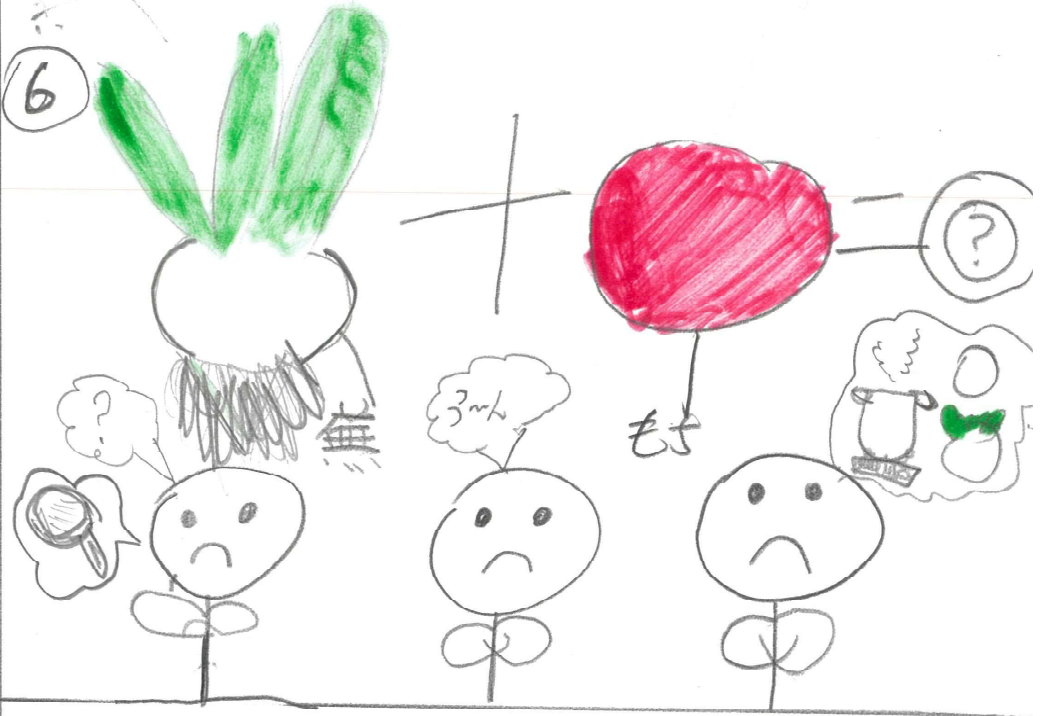


5

石ぼうじ



6



Handwritten red text, possibly a signature or date, located at the bottom left of the page.